

別紙4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

| 著者氏名 | 論文タイトル名 | 書籍全体の編集者名 | 書籍名 | 出版社名 | 出版地 | 出版年 | ページ |
|------|---|------------------------|-------------------------------------|----------|---------|------|---------|
| 詫摩佳代 | 第27章「地域内保健協力」 | 佐藤史郎・石坂晋哉 | 『現代アジアをつかむ』 | 明石書店 | 東京都千代田区 | 2022 | 362-374 |
| 詫摩佳代 | 「自国の危機」としての新型コロナウイルス対応」 | 国際経済連携推進センター編 | 『コロナ禍で変わる地政学 グレートリセットを迫られる日本』 | 産経新聞出版 | 東京都千代田区 | 2021 | 210-218 |
| 詫摩佳代 | 第3章「コロナ禍とグローバル保健ガバナンスー米中対立の影響をいかに緩和するか」 | 宮本雄二・伊集院敦・日本経済研究センター編著 | 『米中分断の虚実ーデータカップリングとサプライチェーンの政治経済分析』 | 日本経済新聞出版 | 東京都千代田区 | 2021 | 79-99 |

雑誌

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|-------|---|--------------|-------------|---------|------|
| 城山英明 | 「WHOのグローバル保健ガバナンスにおける役割と課題」 | 『国際法外交雑誌』 | 120巻12号 | 98-109 | 2021 |
| 勝間靖 | 「COVID-19ワクチンをめぐる国際的な格差～多国間協力のためのCOVAXファシリティ、先進国のワクチン・ナショナリズム、新興国のワクチン外交」 | 『ワセダアジアレビュー』 | 24号 | 64-71 | 2022 |
| 勝間靖 | 「日独が共同で取り組むべきグローバルヘルス・ガバナンスの課題」 | JDZB ECHO | 136 | 1-2 | 2022 |
| 詫摩佳代 | 「舵取り役なきグローバル保健ガバナンスー多極化する保健協力の時代、日本の役割は」 | 『外交』 | Vol.12 | 126-131 | 2022 |
| 詫摩佳代 | 「感染症への国際的対応の歴史」 | 『国際法外交雑誌』 | 120巻1・2号合併号 | 42-51 | 2021 |
| | | | | | |